

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社イチタン
コード番号 5645

上場取引所 JQ
URL <http://www.ichitan.co.jp>

代表者 代表取締役社長
問合せ先責任者 取締役総合企画部長

田村 稔
有田 裁彦

TEL (0276) 31-2332

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,881	—	80	—	40	—	29	—
20年3月期第1四半期	2,695	1.9	113	36.0	94	68.0	55	10.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	3	32	—	—
20年3月期第1四半期	6	31	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第1四半期	10,359		648		5.7		66	19
20年3月期	9,699		670		6.2		67	61
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		585百万円		20年3月期		598百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	0	00	0	00
21年3月期	—	—	—	—	0	00
21年3月期(予想)	—	—	0	00	0	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	5,700	—	100	—	50	—	10	—	1	13
通期	12,000	5.6	220	△36.3	140	△47.0	100	△32.9	11	30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 8,850,000株 | 20年3月期 | 8,850,000株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 2,273株 | 20年3月期 | 2,273株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 8,847,727株 | 20年3月期第1四半期 | 8,848,500株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の日本経済は「踊り場」の状況が続いています。鉱工業生産指数が1月～3月の実績では4期ぶりに前期比減となり、4月～6月も減少継続が予想され弱含んでいます。一方世界経済は、米国が景気後退入りの可能性が懸念され、欧州もインフレ圧力が燻っています。中国は高成長が続くが四川大地震による先行き減速リスクに留意、NIE s 新興国の景気は概ね順調な動きであります。

(1) 売上高

主要生産品目である自動車部品を中心に売上の拡大に努力した結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は前年同期比1億85百万円(6.9%)増加し、28億81百万円となりました。

(2) 営業利益

全社一丸となって、生産性向上、諸経費削減・原価低減等に取り組みましたが、原材料の値上等もあり、営業利益は前年同期比33百万円(29.4%)減益の80百万円となりました。

(3) 経常利益

為替差損の発生により前年同期比54百万円(57.8%)減益の40百万円となりました。

(4) 四半期純利益

固定資産除却損が減少したものの前年同期比26百万円(47.4%)減益の29百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は43億39百万円で、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。主な要因は、売上の増加に伴う売掛金の増加によるものです。固定資産の残高は60億20百万円で、前連結会計年度末に比べ6億49百万円増加しました。主な要因は設備投資による有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

流動負債の残高は87億76百万円で、前連結会計年度末に比べ6億46百万円増加しました。主な要因は設備投資に伴う未払金の増加です。固定負債の残高は9億34百万円で、前連結会計年度末に比べ35百万円増加しました。主な要因は退職給付引当金の増加によるものです。

(純資産)

純資産の残高は6億48百万円と前連結会計年度末に比べ22百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

金融商品取引法に基づくディスクロージャー制度の改正に伴う当社業績への影響が見通しがたい状況ではありますが、他の要因による業績の変動も現時点では想定されないことから、平成20年5月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 税金費用の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益及び営業利益、経常利益、税金調整前四半期純利益が5,700千円それぞれ減少しております。

(4) その他

耐用年数の継続適用

機械装置については、法人税法の改正により法定の耐用年数は変更されましたが、合理的な経済的耐用年数を再検討した結果、従来の耐用年数を引き続き適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,415	135,082
受取手形及び売掛金	2,123,446	2,061,572
商品	626	755
製品	342,261	392,012
原材料	203,588	224,510
仕掛品	805,521	788,894
金型	475,541	473,598
貯蔵品	93,559	94,489
繰延税金資産	6,001	5,977
その他	197,055	151,006
流動資産合計	4,339,018	4,327,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,366,641	1,406,249
機械装置及び運搬具(純額)	2,226,959	2,298,825
建設仮勘定	1,041,048	277,428
その他(純額)	973,460	980,070
有形固定資産合計	5,608,109	4,962,574
無形固定資産	122,978	135,986
投資その他の資産		
投資有価証券	123,075	108,801
繰延税金資産	5,617	0
長期貸付金	9,753	12,477
その他	150,662	151,331
投資その他の資産合計	289,108	272,610
固定資産合計	6,020,197	5,371,170
資産合計	10,359,215	9,699,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738,001	1,759,566
短期借入金	5,196,263	5,040,174
未払法人税等	15,699	58,919
賞与引当金	279,583	185,841
設備関係支払手形	539,570	540,168
その他	1,007,091	544,835
流動負債合計	8,776,209	8,129,506
固定負債		
長期借入金	129,610	144,308
繰延税金負債	11,153	71
退職給付引当金	753,588	718,131
役員退職慰労引当金	40,326	36,543
固定負債合計	934,677	899,055
負債合計	9,710,886	9,028,561

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	706,250	706,250
資本剰余金	631,955	631,955
利益剰余金	△829,419	△858,779
自己株式	△432	△432
株主資本合計	508,353	478,993
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,452	8,392
為替換算調整勘定	60,869	110,787
評価・換算差額等合計	77,322	119,180
少数株主持分	62,653	72,333
純資産合計	648,329	670,507
負債純資産合計	10,359,215	9,699,069

(2) 【四半期連結損益計算書】

[第1四半期連結累計期間]

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	2,881,400
売上原価	2,545,048
売上総利益	336,352
販売費及び一般管理費	255,841
営業利益	80,510
営業外収益	
受取利息	119
受取配当金	758
その他	5,630
営業外収益合計	6,509
営業外費用	
支払利息	13,606
為替差損	29,306
その他	4,066
営業外費用合計	46,979
経常利益	40,039
特別損失	
固定資産除却損	1,390
特別損失合計	1,390
税金等調整前四半期純利益	38,649
法人税、住民税及び事業税	12,667
法人税等調整額	△24
法人税等合計	12,642
少数株主損失(△)	△3,352
四半期純利益	29,359

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	38,649
減価償却費	145,871
固定資産除却損	1,390
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35,456
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,782
賞与引当金の増減額 (△は減少)	93,741
受取利息及び受取配当金	△878
支払利息	13,606
為替差損益 (△は益)	29,306
売上債権の増減額 (△は増加)	△78,721
たな卸資産の増減額 (△は増加)	38,152
その他の資産の増減額 (△は増加)	△47,212
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,634
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,698
その他の負債の増減額 (△は減少)	△49,122
利息及び配当金の受取額	878
利息の支払額	△15,959
法人税等の支払額	△54,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△335,048
投資有価証券の取得による支出	△751
貸付金の回収による収入	2,724
その他の支出	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	680,953
短期借入金の返済による支出	△511,663
長期借入れによる収入	69,258
長期借入金の返済による支出	△97,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	141,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,496
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,666
現金及び現金同等物の期首残高	135,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,415

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

同一設備を使用した鍛工品の製造であり実質的には単一の事業なので、事業の種類別セグメント情報の記録は省略しております。

2 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地セグメント情報の記載を省略しております。

3 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料] (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	2,695,473
II 売上原価	2,333,376
売上総利益	362,097
III 販売費及び一般管理費	248,124
営業利益	113,973
IV 営業外収益	6,432
1 受取利息	56
2 受取配当金	739
3 為替差益	555
4 その他	5,080
V 営業外費用	25,646
1 支払利息	13,078
2 棚卸資産廃却損	10,306
3 その他	2,261
経常利益	94,759
VI 特別利益	3,501
1 固定資産売却益	388
2 その他	3,112
VII 特別損失	26,128
1 固定資産売却除却損	26,128
税金等調整前当期純利益	72,131
法人税、住民税及び事業税	14,098
法人税等調整額	—
少数株主利益	2,211
四半期純利益	55,822